

ICTを活用した動画配信について

職員へのメリット

- いつでも、どこでも視聴できる
 - 忙しい時間を避けて(業務時間以外などでも)勉強できる
 - 職場と自宅の通勤の合間や自宅等でスマートフォンにて学習できる
- 何度も誰でも視聴できる
 - 一回では理解できなかったとしても、何回でも視聴できるため、習熟度を高めることができる
 - 聞き逃したところを、すぐに再生し確認できる
 - 事業所内の職員であればだれでも視聴できるので全体のレベルを上げることができる

事業者及び研修担当者へのメリット

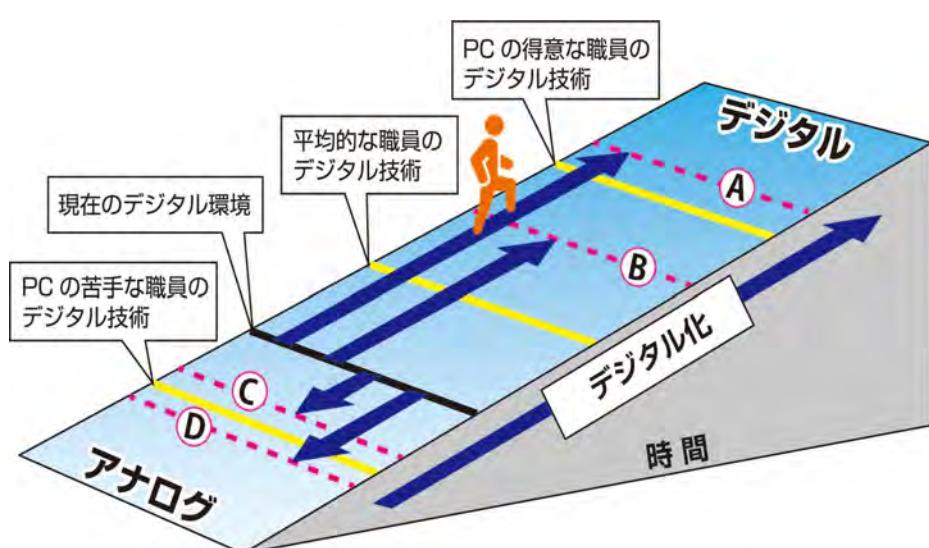
・研修担当者の負担軽減

- 職員不足でも研修の機会をつくれる等、全職員が受講できるので、知識や技術の習得(底上げ)が期待できる
- 勤務シフトの調整をする必要がなくなる
- 事業所内研修に欠席等参加できなかった職員へ新たに研修を実施する必要がなくなる
- 1年間の研修計画が立てやすくなる。

・研修コストの削減

- 外部研修の会場に出向かなくてよいので、参加費、交通費、宿泊費等がゼロになる
- 事業所内研修の外部講師を招く費用を削減できる
- 欠席者への再受講の作業や追加費用の負担がなくなる

デジタル化の取り組みの視点



予想される研修担当者の役割の変化

	導入前	導入後
企画	ゼロから検討	テーマ選択
講師依頼	作業発生	なし
レジュメ	印刷	印刷
研修実施	一定の作業が発生	配信調整
評価	報告書の管理	テストの採点
費用	研修件数により増加	一定
Off-JT	全業務	選択と調整
OJT	全業務	全業務(注力可)
研修負担	重い	軽い(他の教育にシフト出来る)

ICT化の5原則

ICT化の5か条	理由とポイント
1 ICTの果実が明確であること	ICT化の果実>ICT化の費用+ICT化に費やした労働力上記の条件をクリアしなければICT化は無駄になる。
2 過剰なシステムを搭載したICT化は避けること	過剰なシステムは操作を複雑にし、現場で活用できない仕組みになる。価格も高くなるので上記条件をクリアしにくくなる
3 デジタルとアナログのメリット及びデメリットを踏まえた仕組みにすること	やみくもにデジタル化を突き進めると生産性が下がるケースがある。アナログのメリットも活かすことが大事。
4 負担の少ない取り組みから始めること	負担の大きい取り組みは、成功体験を得にくい。
5 現場での業務に活用できるよう調整・修正すること	現場の業務に合っていなければ活用しない

※デジタル化は職員の水準と使いこなす負荷を踏まえて調整すること

加算を踏まえた動画配信サービスの活用

- フォローアップ研修動画配信について
- 介護技術動画マニュアル配信について